

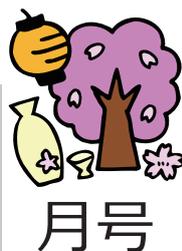
図書館通信



豊かな時間を図書館で

平成31年
(2019年)

4



月号

第457号 (第38巻第1号)

【目次】

- | | | | |
|-----|--------------|------|--------------------------|
| P 1 | GW期間の休館日について | P 6 | 市民のひろば |
| P 2 | 行事と展示のお知らせ | P 8 | 新着図書案内 |
| P 3 | 事業報告・事業告知 | P 12 | カレンダーとお知らせ、
図書館施設のご案内 |
| P 4 | アーニス分館だより | | |
| P 5 | 職員のおすすめ本 | | |

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

ゴールデンウィーク期間のお休みについて

日	月	火	水	木	金	土
4/28 開館	4/29 昭和の日 休館	4/30 祝日振替 休館	5/1 即位の日 休館	5/2 開館	5/3 憲法記念日 休館	5/4 みどりの日 休館
5/5 こどもの日 特別開館	5/6 休館日	5/7 開館	5/8	5/9	5/10	5/11

ゴールデンウィーク期間中も返却ポストは通常通りご利用頂けますが、ポストの利用が増えて入らなくなる可能性もありますので、出来るだけ開館日にご返却頂けますようご協力をお願いいたします。

* 5/2(木)以外、アーニス分館は開館いたします。



5月5日(日) こどもの日
特別開館します!



児童室でくじ引きやクイズをします!
景品もあります♪ぜひご来館ください!

映画会

※会場はいずれも図書館3階の会議室です。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

- こども映画会** 日時 4月6日(土) 10時30分より(アニメ33分)
タイトル 「エリック・カール コレクション はらぺこあおむし」
- 名画鑑賞会** 日時 4月6日(土) 13時30分より(119分)
タイトル 「深夜食堂」(邦画)

イベント・講座

※会場はいずれも図書館3階の会議室です。
お問い合わせ先：登別市立図書館

①市民活動サポーター説明会

図書館ボランティアについての趣旨や活動内容をご説明します。

● 申込不要

開催日時 4月13日(土) ①10時～11時 ②14時～15時 ③17時～18時

②アイヌ文化講座「近代史の中の金成太郎」

└ 講師 アイヌ文化アドバイザー 富樫利一さん

● 申込不要

アイヌ民族の教育と地位向上に力を注いだ金成太郎の生涯について学びます。

開催日時 4月20日(土) 13時30分～15時30分

③ビブリオバトルの夕べ・・・共催 いぶりびぶりぶ♪ 松田靖子さん

お茶を飲みながら、お気に入りの本の紹介を楽しみます。

● 申込不要

開催日時 4月25日(木) 午後6時～午後7時30分

おはなし会

※会場：①、③図書館1階えほんのへや
②図書館3階会議室

①えほんのへやのおはなしかい(絵本や紙芝居の読み聞かせ)

日時 4月13日(土) 14時より

②おはなしくれよん(えほんとわらべうたあそび)

日時 4月10日(水) 10時30分より

③おはなしぽけっと(絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど)

日時 4月27日(土) 13時30分より



ロビー展示

※会場はいずれも図書館1階ロビーです。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

- ①『平成をふりかえる』 期間：4月 3日(水)～4月14日(日)
- ②『松田奈那子 作品展』 期間：4月18日(木)～5月18日(土)

事業報告

郷土文化講座「日本古来の製鉄法 たたらを学ぶ」を開催しました

2月23日（土）午後3時より、室蘭・登別たたらの会でご活躍されている石崎勝男さんを講師にお招きして、標記の講座を開催しました。

本講座は、石崎先生の「たたらへの愛」と、流れる鉄のように熱い想いに溢れた人気の講座で、今回も多くのご参加を頂きました。

例年この時期に開催しておりますので、次回の講座にも是非ご期待ください！



「雑誌と本のリサイクル市」を開催しました

3月1日（金）から31日（日）まで本館1階ロビーにて「雑誌と本のリサイクル市」が開催されました。図書館で除籍した本や保存期間の過ぎた雑誌を市民の方に差し上げるもので、例年3月に実施しています。初日から多くの方が足を留め、興味のある本や雑誌を手にとっていかれました。ご活用頂ければ幸いです。

本館での開催は年に1回程度ですが、アーニス分館では常時リサイクル本を置いています。お近くにお立ち寄りの際はぜひご利用ください。



事業告知

ワークショップ ー松田 奈那子さんをむかえてー

絵本作家の松田 奈那子さんによる絵本の読み聞かせや工作を行います。工作の見本は4月18日（木）からロビーで展示しています。たくさんのご参加をお待ちしています！

日時：5月18日（土）午後1時30分～3時

会場：図書館3階 会議室

対象：年中～小学生（応募多数の場合、登別市在住の方が優先）

定員：30名

申込：4月18日（木）午前10時～5月15日（水）午後6時
図書館カウンターまたは電話で受け付け



クレヨンのごすりだして
着せ替え人形を作ろう！

アーニス分館だより

アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * オンライン・データベースを利用できます。
- * DVDを視聴できます。
- * 見やすい大活字本もあります。
- * **新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報がご覧いただけます。**



中高生向け!



4月と言えば新入学・新社会人新しいシーズンの始まりです。

緊張するこの時期 **お弁当** で心も体もリラックスできたらいいですね。



新着本



《新刊おすすめ本紹介》



復元 CG 日本の城 / 三浦 正幸 監修 / 山川出版社



桃山時代から江戸時代にかけて築かれた近世城郭、26の城の姿を復元したCG画像を掲載。壮大な石垣の上にどんな城が建っていたのか、苔むした石や堀の上に、どのような城が建っていたのか。現況との対比、CG復元のもとになった絵図、縄張り図、古写真等も収載。折込みページあり。

お城にも歴史にも詳しくなくても、きっと見ごたえがあります。ここに取り上げられた城の多くが西日本にあるのは、なぜでしょう？それは日本の城の成り立ちの歴史そのものに理由があるようです。じっくり楽しめますよ。



「ダヤン、わちふいーるどへ」 池田あきこ／著 ほるぷ出版



特別な猫“ダヤン”の誕生と不思議な国“わちふいーるど”での冒険を描く「ダヤンの長編ファンタジー」のはじまりのお話です。

風も雨も稲妻も生まれるのを待ち望んで見にくるほどの特別な猫のダヤンは、地球で元気いっぱいになっていきます。ところがある冬の日、雪の魔法に導かれ、地球とは別の世界、わちふいーるどへ足を踏み入れてしまいます。そこは、兎やワニといった様々な動物たちが“立って”仲良く“おしゃべり”をしている世界でした。

鼠までも気さくに話しかけてくるので、猫の本能に葛藤する姿もありますが、すっかりわちふいーるどが気に入ったダヤンはそこで暮らす事に…

妖精や魔女、悪い魔物や暗い森などが存在する世界。ダヤンやそこで暮らす動物たちとの日常は、毎日が冒険のようなものかもしれません。なんといっても、ダヤンがおちゃめなトラブルメーカーですから。そんなダヤンが巻き起こす様々な冒険、動物たちや敵との激突と友情。全七巻の壮大なストーリーなのですが、毎回ダヤンが何をしでかすのか…どんな動物が出てくるのか…など、ドキドキして読んでいたら…え？そうなるの！？という展開も。

絵本でもダヤンのシリーズがあるのですが、この長編ファンタジーを読むとキャラクターの性格や関係などがわかり、一層深く読めました。絵本は可愛い動物たちのほっこりするような日常の短いお話ばかりでしたので、物語になって長くダヤンと付き合っていくうちに、色々な顔のダヤンが見えてきたような気がします。

猫が好きの方、冒険ファンタジーが好きの方、動物たちが仲良く暮らす世界を楽しみたい方。もちろん、猫のダヤンが好きの方。色々な方におすすめしたい一冊（シリーズなので七冊…）です。

郷土資料紹介



「アイヌ もっと知りたい！くらしや歴史」（調べる学習百科）

北原モコットウナシ・蓼島栄紀／監修岩崎書店編集部／企画・編集 岩崎書店



テレビでアイヌの特集などを目にしますが、食べ物など、名前や映像だけ出てきて、実際はどのようなものなのか、何で作られているのか、などがわからないままで終わる事があり、気になって仕方がなくて、この本の副題にもある「もっと知りたい！」という気持ちそのものでした。

写真やカラーイラスト、それにアイヌ語を交えて生活や文化、着物や踊りなど多岐に渡って解説されています。また児童書という事もあり、言い回しなども難しくはしてなく、読みやすいと思いました。

先住民族アイヌとは？という出だしから始まり、アイヌの歴史 タネパクノ[現代まで]と締め括るので、アイヌ文化を知る第一歩として、アイヌ文化の導入としておすすめです。

私が体験した熊送り、そして図書館、イザベラ・バード

花のカメラマン 土屋 忠紀



昭和 24 年、私は 6 才だった。私の住んでいた善光寺の東門の道ぞいに 13 軒の家があり私の家の右隣は母の妹の海軍兵学校夫妻で隣は口を染めたアイヌ人の婆さんがいた。左隣は室蘭の栗林の船長さんで、そして斜め前には、いつも犬の毛皮のそでなしを着たデブプリと肥えたアイヌ人がいた。外出は馬にまたがり、時には古い村田銃を背にすることもあった。だれもがサンケオドと呼んでいた。もう一人同じ体形の「耳タロウ」がいた。子供に会うと「耳食うぞ」と本当に耳に食いついた。どの子も「耳タロウ」を恐れていた。二人は兄弟で有珠のスターだった。

雪も融け始めた頃、サンケオドに「肉を食わせる」と誘われ、その夜姉と茶碗を持って行った。すでに土間の玄関に長靴であふれていた。うす暗い居間の囲炉裏の鉄鍋に山盛りの肉が煮えていた。湯気の向うに髭面の男がならんでいて、すぐに肉をよそってくれた。肉は硬くまずかった。間もなく家に戻ったのか記憶はここまでだった。

時は過ぎ…ヨサコイ・ソーランの写真でメシを食うべく仕事をやめた。大きなレンズのカメラにスタイルも踊りも抜群な有名チームのトップの踊り子が何人も、私を撮ると、声をかけてきた。室蘭丸井さんでの写真展には札幌から 30 名も来てくれ「私をこの様に撮ってくれて光栄です」と礼状が来た。自信をもって札幌に行った。しかし世の中甘くはなかった。マスコミ・雑誌やチームからの写真のオファーはなかった。落ち込んだ。居場所がなかった。

そんな時だった。「ひまわり」という札幌市中央区の地域ミニコミ紙（300 部）の編集長から「何か書きますか」と声がかかった。1 年以上読んでいたのですぐ OK の返事をした。私の名刺ですと編集長から 3 冊の本と「ひまわり」100 号記念の縮刷版を手渡された。編集長は私立高の元教員だった。「3 年 B 組金八先生」が話題になった頃、どこの町でも急速に変化する世に疎外感で暴発する生徒も多かった。そんな生徒と共に悩み苦闘する様子を日刊学級新聞にし悩みを共有していた。良くも悪くも、生徒のエネルギーは凄まじかった。この「ひまわり」に熊送りの事を書こうと私の図書館通いが始まった。

図書館には北海道大学付属図書館や北海道立文書館などいろいろな図書館があり、私は現場労働者出の歴史にはズブの素人だから怖いもの知らずで、司書さん学芸員さんらに聞いて回った。「伊達の風土」という冊子に会い有珠の近所の人で「有珠は何も歴史が残っていない」となげいているのを知り、札幌にいるあいだできるだけ資料を集めようと思った。熊のことを書いた本、アイヌ人の人々からの聞き取り本など手当たり次第に見た。昔近所にいた人、知っていそうな人に電話や訪ねて聞いた。「オマエ来るのが 10 年遅い」と叱られた。熊送り（イオマンテ）は禁止されていたが時の高官や皇族などへの接待や後世へ記録として映像を残すため行われていた。山猟での記録もあった。

有珠アイヌ人の狩り場は大滝や久保内で岩屋の送り場には熊の頭骨がたくさんあったようだ。この近くの温泉を拠点に夏から秋、川漁や鹿や熊などの山猟をしていた。もちろん温泉に入っていた。その温泉を伊達の人と酒一樽と交換しその権利を渡した。

熊猟は 2 週間以上も山に入るので、親子兄弟など気心の知れた 2~3 人だ。熊が冬ごもりする前の秋のうちに見当をつけそこを歩くのだ。熊が入っている横穴は、かすかに雪が融けていて、犬の嗅覚で探すのだ。山猟の熊送りは飼熊の熊送りと違い派手さはなくひっそりと行われていた。

サンケオドの右上に住んでいたキミちゃんが上からのぞいたら「女は見るな」と怒られた。熊の解体やイナオ作りは女人禁制なのだ。私の姉は「宴にはいつも花札をしていた近所のおばさんもいた。」と言っていた。虻田ウタリ（旧）支部長は、「サンケオドは金を持っていたから普段食えない菓子も貰えるので楽しみだった。何回も虻田から歩いたり船でも行った。最後男は刀を持ち、女性も全員で踊った。」と話してくれた。我が家は有珠駅前に引っ越したが、サンケオドの家の近くを通ると家の東側に熊の頭骨が木の上に2個のっていた。

話を進めよう。資料探して、図書館の司書さんと顔なじみになった頃、イザベラ・バードというイギリス人女性を書いた本に出会った。バード女史は西南戦争も終わり日本が落ち着いてきたころ、通訳の伊藤青年と平取へ行きその帰路有珠に通った人だ。蝦夷地は熊狼が闊歩していて、又一部、武士には外国人を排除する思想もあり、その勇気や名文から歴史好きの人々に強烈なファンも多い。この本は皆さんと同じで自分の故郷のページから読んだ。

バード女史は有珠には和人は宿の親子だけでアイヌは500名と記している。宿とは駅通のことで旅人の宿や道案内、馬の手配等を行い、支配人は飯田市五郎という人だ。有珠の住人は、会所小使(2名75両)漁場の番人(13名299両)だ(明治5年)。この人達の何人が村外に移ったのだろうか。永住人5家族28名(1家族7名札幌へ)もいた。有珠アイヌ人は81家族397名だ。この他善光寺のお坊さん、宿坊守、寺侍などもいた。移住年ははっきりしないが伊達家の家臣13戸86名も明治に有珠に移り住んでいる。さぞかしバード女史も和人の多さにビックリしたのでは。

さて、有珠善光寺には銀杏がありどのように書かれているかと思ったら礼文華に「これぞ銀杏といえる様な…地面から3フィート(1メートル)のところ直径が1フィート5インチ(70cm以上)もある幹に8本分岐していた」(金坂訳)とある。これを描くと2m80cmにもなる大木だ。もしその様な銀杏の大木があるなら、ここを通った本草学者や松浦武四郎らの目に入っていただろう。東北には銀杏の木が沢山あったが…。善光寺の銀杏は開道五十年周年記念拓殖写真帖(ネットで閲覧可能)にはまだ幹は細く30~40年にもなっていない様に私には見えるのだ。

バード女史は礼文華峠は今年4名の通行人しかないと書いているが、有珠駅通には明治11年306名の宿泊者があり、礼文華や弁辺(豊浦)はまだ入植者が無く、長万部へ行く人帰ってくる人だけが有珠に泊ったようだ(虻田駅通は明治8年休止)。又、礼文華峠には明治7年から明治16年まで電信線(柱も)が通り電信線を守るため幅広く電信柱の回りの木が切られていたのではないだろうか。又、月3回アイヌ人が電信線の点検通行していた。

白老では樽前山に登る途中案内人のアイヌ人の青年とバード諸共に古い熊の落とし穴に落ちる事件を書いているが、この話をアイヌ人関係の学芸員に話したらゲラゲラと大きな声で笑った。ありえない笑い話レベルなのだろうか。さらに平取ではアイヌ人の長であるベンリの養子が額づいてバートの手にキスをしたと書いてあるが、翻訳者の金坂氏はこの挨拶の仕方を学んだのは東京の仮学校だという。翌年平取に入ったジョン・バチラーはベンリの家族を母、妻、養子(12才)養女(11才)の5人と記した。バードの本にある22歳の養子も子供連れのベンリの若い妻も消えている。開拓使仮学校の名簿には平取の青年はいないのだが…。

私はイザベラ・バード女史のたどった道の一つずつ現在残っている資料で解明したいと思っています。読者の方で次の資料があれば協力をお願いします。

有珠会所駅通の図面等、礼文華峠の電信線路図面、また人力車の資料等。(人力車でバードは旅をしています。明治19年まで室蘭には人力車の記録が無いようでした。)

その他、明治10年頃こんな話があった等何でも良いので図書館までご連絡ください。



新着図書案内 平成31年4月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		オスマン帝国 繁栄と衰亡の600年史	小笠原 弘幸
ブロックチェーン 相互不信が実現する新しいセキュリティ	岡嶋 裕史	フランス現代史	小田中 直樹
画家のブックデザイン	小林 真理	英国ロイヤルスタイル	クレヴィス
江戸の古本屋 近世書肆のしごと	橋口 侯之介	● 鶴見俊輔伝	黒川 創
100歳までに読みたい100の絵本	木村 民子	山本五十六の戦争	保阪 正康
手帳と日本人	舘神 龍彦	● 小林一三 日本が生んだ偉大なる経営イノベーター	鹿島 茂
京都・大阪・神戸マニアック博物館	町田 忍監修	世界の国境を歩いてみたら…	「世界の国境を歩いてみたら…」番組取材班
● 私が食べた本	村田 沙耶香	地球の歩き方 aruco グラム	地球の歩き方 編集室
1 哲学・宗教		侘寂温泉 東日本編・西日本編	魚谷 祐介
仕事と心の流儀	丹羽 宇一郎	古地図のひみつ 読みかた・楽しみかたがわかる本	安藤 優一郎監修
脱・呪縛	鎌田 實	プラタモリ 15・16	NHK「プラタモリ」 制作班監修
● 御朱印でめぐる北海道の神社	『地球の歩き方』 編集室	に・ほ・ん・も・の	中田 英寿監修
年を重ねるほど心が若返る名言	保坂 隆	日本文学気まま旅	浅見 和彦
落ちこまない練習	青山 俊董	3 政治・経済・社会・教育	
一神教と戦争	橋爪 大三郎 ・中田 考	医療費で損しない46の方法	原 昌平
図解身近にあふれる「男と女の心理学」が 3時間でわかる本	内藤 誼人	女性の職業のすべて 2020年版	女性の職業研究会
どうせなら、笑って生きていく! 80歳“ばあばのOL”の年齢不相应のスズメ	祐成 陽子	● この先をどう生きるか	藤原 智美
謎解き聖書物語	長谷川 修一	必ず成功する外国人雇用	浜川 恭一
● 冥界からの電話	佐藤 愛子	フチの伝えるところ アイヌの女の四季	計良 智子
2 歴史・地理		保育の自由	近藤 幹生
消えた屍体	ジャンニ・デイヴィス	老後資金の「ちょこっとスマート」 やりくり術	保坂 隆
● ほっかいどう先人探訪	読売新聞 北海道支社編集部	老いた家衰えぬ街	野澤 千絵
国民とともに歩まれた平成の30年	宮内庁侍従職監修	日本の伝説 東北・北海道	藤沢 衛彦
ご先祖あるある! 直系子孫だから知っている西郷さんと真田さん	西郷 隆太郎・ 真田 明日美	● 「あの世」と「この世」のあいだ	谷川 ゆに
ある若き死刑囚の生涯	加賀 乙彦	大清律刑律 1	谷井 俊仁訳解
昆虫考古学	小畑 弘己	経費で落ちる領収書大全	石渡 晃子
● 怖い橋の物語	中野 京子	あの天才たちは、こう育てられていた!	諸富 祥彦
歴史を知る楽しみ 史料から日本史を読みなおす	家近 良樹	定年後の経済学	橘木 俊詔
● 逆説の日本史 24 明治躍進編	井沢 元彦	ゲイだけど質問ある?	鈴掛 真
承久の乱	坂井 孝一	自殺会議	末井 昭
村役人のお仕事	山崎 善弘	文藝春秋オピニオン2019年の論点100	文藝春秋
世界から見た北の縄文 御所野遺跡と北海道・北東北の縄文遺跡群	御所野縄文博物館	“財政が厳しい”ってどういうこと?	今村 寛
地図でみるアイヌの歴史 縄文から現代までの1万年史	平山 裕人	高齢者の手あそび・指あそび& 足体操 新装版	原田 律子

新 着 図 書 案 内 平成31年4月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
領土消失 規制なき外国人の土地買収	宮本 雅史・ 平野 秀樹	すごい分子 世界は六角形でできている	佐藤 健太郎
西洋の自死 移民・アイデンティティ・イスラム	ダグラス・マレー	● 不老不死のクラゲの秘密	久保田 信
だれでもカンタンにできる資産運用のはじめ方	まがい まさこ	気象予報と防災 予報官の道	永澤 義嗣
笑おうね生きようね いじめられ体験乗り越えて	本多 正識	100歳まで自分の足で歩ける ひざ年齢若返りメソッド	磐田 振一郎
福ねこお豆のなるほど京暮らし	山口 珠瑛	世界のキレイでかわいいきもの	パイインター ナショナル編
高校生からのリーダーシップ入門	日向野 幹也	70歳からの健康法	入江 健二
なぜ人と人は支え合うのか 「障害」から考える	渡辺 一史	地球一やさしい宇宙の話 巨大ブラックホールの謎に挑む!	吉田 直紀
● 無子高齢化 出生数ゼロの恐怖	前田 正子	帰ってきた! 日本全国化石採集の旅	大八木 和久
フェイクニュースを科学する	笹原 和俊	認知症をくいとめる! 1日3分 「脳番地」トレーニング	加藤 俊徳
北朝鮮の漂着船	荒木 和博	女性のための「検査」がわかる本	小橋 隆一郎
アンダークラス 新たな下層階級の出現	橋本 健二	生命科学の未来 がん免疫治療と獲得免疫	本庶 佑
恐怖の男 トランプ政権の真実	ボブ・ウッドワード	世界最高医が教える目がよくなる 32の方法	深作 秀春
クリエイティブ・スイッチ 企画力を解き放つ天才の習慣	アレン・ガネット	今日から使える物理数学	岸野 正剛
江戸を賑わした色街文化と遊女の歴史	安藤 優一郎監修	いのちの値段 医療と費用を巡る50の物語	読売新聞医療部
これだけは知っておきたい 年中行事の常識67	長沢 ヒロ子	「小さないのち」を守る	朝日新聞取材班
介護はケアマネで9割決まる!	小林 光恵	美味しい食育レシピ	小嶋 隆三
ラッピングアイデアブック	オギハラ ナミ	認知症「不可解な行動」には理由 (ワケ)がある 大活字版	佐藤 眞一
4 自然科学・医学		森林浴 心と体を癒す自然セラピー	宮崎 良文
インフルエンザ・ハンター	ロバート・ ウェブスター	5 技術・工業・家事	
在宅無限大 訪問看護師がみた生と死	村上 靖彦	あなたがひとりで生きていく時に 知っておいてほしいこと	辰巳 渚
免疫学の基本	松本 健治監修	天井美術館	五十嵐 太郎
火山のしくみパーフェクトガイド	高橋 正樹	ざんねんなクルマ事典	片岡 英明監修
福田式がんに勝つ最強スープレシピ	福田 一典監修	● 還暦着物日記	群 ようこ
日本のチョウ 増補改訂版	日本チョウ類 保全協会	かわいいミラー刺繍 インドに伝わる伝統 の技法をわかりやすくアレンジ	宮内 愛姫
脳の働きをまもるウォーキングのすすめ	宮下 充正	復元CG日本の城	三浦 正幸監修
古代の星空を読み解く キトラ古墳天文図とアジアの星図	中村 士	ジュエリーバッグスタイル	三浦 紀子
● めんそーれ! 化学	盛口 満	夢のやせる肉	オレンジページ
数学と恋に落ちて 未知数に親しむ篇	ダニカ・マッケラー	● 世界に一軒だけのパン屋 地産地消で年 商十億円北海道『満寿屋』三代の奇跡	野地 秩嘉
数学と恋に落ちて 方程式を極める篇		トコトンやさしいボイラーの本	安田 克彦
順天堂大学が教えるパーキンソン病 の自宅療法	服部 信孝	宇宙飛行士に聞いてみた! 世界一リアルな宇宙の暮らしQ&A	ティム・ピーク
敏感すぎる人の「仕事の不安」が なくなる本	みさき じゅり	モデルが秘密にしたがる体幹リセットダイ エツ究極の部分やせ	佐久間 健一
日本人の9割がやっている残念な 健康習慣	ホームライフ 取材班	栄養が溶け込んだおいしいスープ	阪下 千恵
マンガでわかる 円形脱毛症になったら読む本	小豆だるま	「ちゃんとしなきゃ!」をやめたら二度と散 らからない部屋になりました	なぎまゆ

新着図書案内 平成31年4月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
5 技術・工業・家事		7 芸術・スポーツ	
秒でわかる!最強の家事	かずのすけ	● 一切なりゆき 樹木希林のことば	樹木 希林
心と体がのびのび育つ0~2歳児のあそび図鑑	波多野 名奈監修	● 絵本作家のブルース	長谷川 義史
日産自動車極秘ファイル2300枚「絶対的権力者」と戦ったある課長の死闘7年間	川勝 宣昭	基本が身につく書道の教科書	青山 浩之
● 宇宙の覇者ベズスvsマスク	クリスチャン・ダベンポート	日本の漫画本300年	清水 勲・猪俣 紀子
めんつゆレシピ	みない きぬこ	平成の藝談 歌舞伎の真髓にふれる	犬丸 治
はじめてのママとパパでもちゃんと作れる!手作り通園通学グッズ	ブティック社	刑事コロポ読本	町田 暁雄
サラリーマンのごちそう帖	藤枝 暁生	展覧会プロデューサーのお仕事	西澤 寛
家中スッキリ片づく!「つっぱり棒」の便利ワザ	竹内 香予子	一発屋芸人の不本意な日常	山田ルイ53世
県民バズごはん	リュウジ	野の花写真 撮影のテクニックと実践	いがり まさし 文・写真
世界のかわいい家	パイインターナショナル編	● 怖いへんないきものの絵	中野 京子・早川 いくを
わかる!使える!3Dプリンター入門	水野 操	● 箱根0区を駆ける者たち	佐藤 俊
シニアよ、インターネットでつながろう!	牧 壮	ジャポニスム 流行としての「日本」	宮崎 克己
行正り香の家作り ヒュッゲなインテリア	行正 り香	江戸・幕末・明治おもちゃ絵・遊び絵の世界	河出書房新社
たつきーママの混ぜて入れるだけのかんたん可愛いスイーツの本	奥田 和美	金メダリスト瀧本誠が教える柔道観戦完全マニュアル	瀧本 誠
歴史作家の城めぐり	伊東 潤	頭のいい小学生が解いている算数脳がグンと伸びるパズル	松永 暢史
快適!キッチンのスゴ技	タスカジ監修	猛老猫の逆襲	山下 洋輔
スーパーカブは、なぜ売れる	中部 博	みんなのストレッチ	フィジカルトレーナー協会
● 頑張らない台所 60歳からはラクしておいしい	村上 祥子	輝く!日本レコード大賞公式データブック 放送60回記念	シンコーミュージック・エンタテイメント
白崎裕子の料理とおやつ	白崎 裕子	そうだ!音楽教室に行こう	大内 孝夫
大人体型の「きれい」を引き出す着こなしの作戦	窪田 千紘	日本の美しい色と言葉	桜井 輝子
働く台所	エクснаレッジ	てのひらのえんぎもの 日本の郷土玩具	佐々木 一澄
世界自然遺産でたどる美しい地球	高木 秀雄監修	太陽のかけら ピオレドール・クライマー谷口けいの青春の輝き	大石 明弘
ディズニーミニチュアドレス	ブティック社	ドビュッシー最後の一年	青柳 いづみこ
6 産業・商業		● 遠きにありて	西川 美和
犬川柳 五・七・五で詠むイヌゴコロ!しばせんの心得	辰巳出版	世界の名門バレエ団 ビジュアル版	渡辺 真弓
東京ディズニーランドパーフェクトガイドブック 2019	ディズニーファン編集部	ねことじいちゃん 写真集	岩合 光昭
● 安倍官邸vs. NHK	相澤 冬樹	牛乳パックで作る布箱とこもの46	ブティック社
図解誰でもできる石積み入門	真田 純子	はじめてのアメリカ音楽史	ジェームス・M. パーダマン
ロブスターの歴史	エリザベス・タウンSEND	無敵の筋トレ食	岡田 隆
俳句ねこ	沖 昌之	8 言語	
日本交通史	児玉 幸多	チェコ語・ハンガリー語・ポーランド語	JTBパブリッシング
運転をあきらめないシニアの本音と新・対策	岩越 和紀	ことばの「なまり」が強みになる!	吉村 誠

新 着 図 書 案 内 平 成 3 1 年 4 月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		● 姫君の賦 千姫流流	玉岡 かおる
● ふたたび嗤う淑女	中山 七里	● 残心	鏑木 蓮
天皇組合	火野 葦平	● 出奔(天文方 伊能忠敬1)	小杉 健治
● 神の島のこどもたち	中脇 初枝	● 道標(天文方 伊能忠敬2)	
散歩するネコ(れんげ荘物語 4)	群 ようこ	● ほどなく、お別れです	長月 天音
奈緒と磬音	佐伯 泰英	● 平場の月	朝倉 かすみ
● つくもがみ笑います	畠中 恵	● 青山に在り	篠 綾子
● そして旅にいる	加藤 千恵	リコール	保坂 祐希
● 怪物の木こり	倉井 眉介	● 海近旅館	柏井 壽
● 跳ぶ男	青山 文平	うちの旦那が甘ちゃんで 1・2	神楽坂 淳
十津川警部怒りと悲しみのしなの鉄道	西村 京太郎	9 その他の文学	
平戸から来た男		大宮エリーのなんでコレ買ったあ?!	大宮 エリー
早朝始発の殺風景	青崎 有吾	● 私が作家になった理由(わけ)	阿刀田 高
● ゴールデン街コーリング	馳 星周	〈女流〉放談	イルメラ・日地谷 =キルシュネライト
● 帰去来	大沢 在昌	● いい女、ふだんブツ散らかしており	阿川 佐和子
この地上において私たちを満足させるもの	乙川 優三郎	● 湯けむり行脚 池内紀の温泉全書	池内 紀
● ピーク	堂場 瞬一	● 謎とき『風と共に去りぬ』	鴻巣 友季子
テレビ探偵	小路 幸也	● 我的日本 台湾作家が旅した日本	呉 佩珍編訳
誰もいない街	高橋 徹郎	伊丹十三選集 1 日本人よ!	伊丹 十三
女警	古野 まほろ	80歳のマザーグース	桐島 洋子
● 麒麟児	冲方 丁	● 海苔と卵と朝めし	向田 邦子
則天武后 上・下	塚本 青史	言葉人形 ジェフリー・フォード短篇傑作選	ジェフリー・フォード
わが夫啄木	鳥越 碧	読書間奏文	藤崎 彩織
● 私に付け足されるもの	長嶋 有	他人だったのに。	糸井 重里
● 骨まで愛して 粗屋五郎の築地物語	小泉 武夫	NHKラジオ深夜便絶望名言	頭木 弘樹
珠玉	彩瀬 まる	● 駄目な世代	酒井 順子
コヨーテの翼	五十嵐 貴久	忘れるが勝ち!	外山 滋比古
月まで三キロ	伊与原 新	お金がない!	赤瀬川 原平ほか
● 蟻の棲み家	望月 諒子	● 認知症がやってきた!	酒井 章子
カムパネルラ版 銀河鉄道の夜	長野 まゆみ	ズレてる、私!? 平成最終通信	中野 翠
酔象の流儀 朝倉盛衰記	赤神 諒	● わるい食べもの	千早 茜
人外サーカス	小林 泰三	何があってもおかしくない	エリザベス・ ストラウト
開化鐵道探偵 2 第一〇二列車の謎	山本 巧次	われは歌えどもやぶれかぶれ	椎名 誠

図書館Q & A

Q. パスワードを発行すると、どんなことが出来ますか？

A. 登別市立図書館（西いぶり広域図書館情報システム）のホームページにある利用者ページにログイン出来ます。ログインをすると

- Web上で本の予約
- 連絡方法をmailに変更（連絡先にEmailアドレスの登録が必要）
- 近隣の図書館で所蔵していない本のリクエストなどが出来ます。

図書館の開館時間内以外でも本の予約や利用状況の確認ができ便利です。

詳しく知りたい場合は職員までお尋ね頂くか、登別市立図書館ホームページの利用案内をご覧ください。

図書館カレンダー 平成31年(2019年) 4月

日	月	火	水	木	金	土
	1 本館休館	2	3	4 分館休館 ブックスタート	5	6 映画会
7 鷺別配本所 臨時休館	8 本館休館	9	10 おはなしくれよん	11 分館休館	12	13 サポーター説明会 おはなし会
14	15 本館休館	16	17	18 分館休館	19	20 アイヌ文化講座
21 鷺別配本所 臨時休館	22 本館休館	23	24 ライブラリー スタート おはなし会	25 分館休館 ビブリオバトル	26 図書整理日 本館休館 分館休館	27 おはなしほけつと
28	29 昭和の日 本館休館	30 祝日振替 本館休館	5/1 即位の日 本館休館	5/2 分館休館	5/3 憲法記念日 本館休館	5/4 みどりの日 本館休館
5/5 こどもの日 特別開館	5/6 本館休館	5/7	5/8	5/9 分館休館	5/10	5/11 映画会

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00～18:00 (木曜のみ19:30)	10:00～20:00	9:00～18:00 (昼休みあり)	9:00～17:30 土日祝 17:00	9:00～15:00